



MIKATIMES

毎週のミカタタイム

発行：学校から世界のミカタを考える会

SDGs 達成のための具体的なアクションプラン

ここしばらく、継続的に議論を繰り返している、SDGs 達成のための具体的なアクションですが、先月のミーティングで大枠ではありますが、アクションプランの策定ができました。

世界のミカタは今後は子どもたちを対象とする教育と、地域を対象とする教育を分けて考え、両方に取り組むことにしました。

子どもたちを対象とする取り組みとしては、グローバル人材育成事業が小学生、高校生に集中していることに着目し、主として中学生を対象にした宿泊型のイベントを2019年の夏に開催することを目標とします。

このイベントを開催するにあたって複数の自治体、教育委員会を巻き込み、教育分野における福岡県内広域のSDGs 達成のためのパートナーシップの構築を目指します。

地域を対象とした取り組みとしては、防災時に自分たちが実際にどんな行動をとり、誰を取り残してしまうのかをシミュレーションできるワークショップを作成します。

ワークショップの作成、実施にあたっては自治体や、地域の消防団などと連携することで、SDGs が実は身近にある課題を解決するための「自分たちの目標」であり、そのための行動をするのも自分たちであることに気づききっかけを作ります。

今回、アクションプランを策定するにあたって見えてきたのは、「これまでの私たちの活動が自分たちの中で完結していた」という事実と、関係者や関係機関を改めて洗い出してみると思った以上に私たちは恵まれた環境の中で活動をしているということでした。

学校から世界のミカタを考える会は12月に東京で開催予定のSDGs デイへの参加を予定しております。

その時まで、自分たちができること、やるべきことについて引き続き内部だけでなく、外部を巻き込みながら協議を重ね、具体的な活動の下準備を進めていきたいと思っております。

一緒に活動をしたいという、団体や個人の方がいらっしゃいましたらいつでもお声掛けください。



アクションプランを考えるメンバー

団体ロゴを刷新しました。

カラーリング、デザイン共に強くSDGsを意識しています。

外側の大きな円を作り出しているのは17個の目です。これはSDGsの目標の数と各目標のカラーを、目(ミカタをイメージ)で表現しています。

中央の丸と17個の目が作る外円で、さらに大きな一つの目を作り出しています。中央のカラーは目標4「質の高い教育をみんなに」を表現しています。

学校から世界のミカタを考える会は目標4.7(開発教育について記述してある箇所)を中心に全ての目標を意識し、包括的な取り組みを行なっていきます。



MIKATA

育休と一ちゃん、「社会のミカタ」を語る！

第三話：オムツのオツムで環境問題を考える。

どーも！育児休業中のと一ちゃん（36歳）です。

突然ですが、みなさんは紙オムツで育てられましたか？それとも布オムツ？母にたずねると、私は布オムツで育てられたそうです。

私は紙オムツで育児をしています。子どもが生まれる前は実は「布の方がいいんじゃない？」とっていました。布の方がオムツ外れが早そうだし、大学の講義で「紙オムツは紙じゃなくて石油。資源の枯渇と廃棄物の2つの問題がある」と聞いたことがあったので、なんとなくそうした方がいいんだろうなとっていました。

「なんとなく」…そう、深く考えていた訳ではありませんでした。もっと言うと、「子どももいないし、子育てのメインは奥さんだろうし」という当事者意識のなさ故の考えだったのかもしれない。

自分が毎日オムツ交換と家事をこなすようになって初めて「自分ごと」としてオムツの問題を考えるようになりました。「環境問題は大切だけど、育児が大変だから私は仕方がない。その代わりに、マイバッグ持参したりゴミの分別きちんとしてるから…いいよね」

自分を正当化しながら日々の子育てに追われ、過ごす毎日。別にどちらが正しいという答えはありません。廃棄物処理や原発問題を考えるときに NIMBY (Not In My Back Yard) という言葉があります。何かそれに近いものを感じます。

これを書きながら気づいたんですよ。私、実は子どもに布オムツを使ったことないんです。それなのに「布は大変」なんて決めつけていたんです。これを機に一度挑戦してみようと思います。

余談ですが、布オムツで育った私は紙オムツを履いたことがありません。なので先日使ってみました。大人用紙オムツ。

なんでも体験って大事ですよ。えっ？使用感ですか？文字では伝えられないので、あなたも試してみてください。



QRコードからサイトに飛べます。
ミカタイムズのバックナンバーも
読めるので、ぜひ訪問してね!!

VISION

人間一人一人の自覚による、
持続可能な社会の実現

3号続けて、紹介してきたヴィジョン、ミッション、バリューですが、
最後はヴィジョン（ミカタの目指す世界観）のご紹介です。

